



生徒指導・生徒理解の基本

～こんなときどうする？～

学校現場で欠かせない生徒指導と生徒理解の重要性を、
体験活動やロールプレイを通して実践的に学びます

 一人一人の児童・生徒を理解し、支援する力を育む

この時間の流れ

- ① 「生徒指導」「生徒理解」とは?【基礎知識】
- ② こんな児童生徒がいたらどう見る?【見る視点を養う】
- ③ こんなときどうする?【ロールプレイ】
- ④ 振り返り【学び・気付きの整理】

視点1:今日の学びを通して、「生徒指導」や「生徒理解」に対するイメージはどのように変わりましたか?

視点2:もし自分が教師だったら、児童・生徒に「この先生なら話してもいい」と思ってもらうために、どんなことを大切にしたいと思いましたか?

視点3:そのような教師になるために、今から自分ができること・学びたいことは何ですか?

「生徒指導」「生徒理解」とは？

「生徒指導」へのイメージ



- ・叱る、怒る。
- ・ルールを守らせる。
- ・厳しい先生が行う。

「生徒理解」へのイメージ



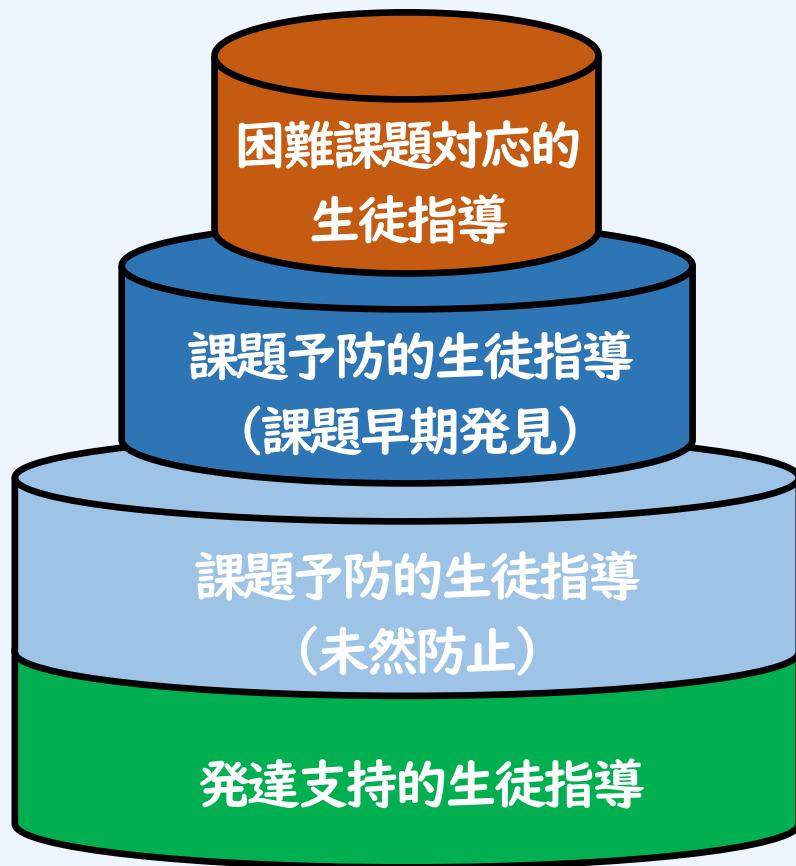
- ・性格をつかむ。
- ・情報を知る。
- ・困っている子を把握する。

■ 文部科学省による定義 〔生徒指導提要（改訂版）2022年〕

「**生徒指導**とは、児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。」

「**児童生徒理解**とは、一人一人の児童生徒に対して適切な指導・援助を計画し実践することを目指して、学習面、心理・社会面、進路面、家庭面の状況や環境についての情報を収集し、分析するためのプロセスを意味します。」

生徒指導の重層的支援構造(生徒指導提要より)



さらに詳しく学びたい方は参考にしてください

-  いじめや不登校等の問題が生じた際の組織的対応や専門的支援
-  特定の課題を意識し、予兆が見られる等の一部の児童生徒の課題の深刻化を防止
-  特定の課題を意識し、すべての児童生徒に対する生徒指導上の諸課題の発生を未然防止
-  すべての児童生徒を対象とした、社会性や人間関係形成能力等を育む日常的な教育活動

「起きてからどう対応するか?」ということ以上に、「どうすれば起きないか?」ということを考え、対応していくことがとても大切である。

「生徒指導」とは…

児童・生徒がよりよく成長し、安心して学校生活を送れるように、先生がサポートするすべての関わり。

- 「叱ること」だけではない → ルール違反を注意するのも指導の一部であるが、それがすべてではない。
- 児童生徒がよりよく生きる力を育てる → 自分で考えて行動したり、人と協力したりできるようにするサポートである。
- トラブルや悩みにも対応する → 友達関係や生活の困り事に寄り添いながら見守る。
- 教科の勉強以外の“生きる力”を育てる → 礼儀、思いやり、感情のコントロール等も含まれる。

「生徒理解」とは…

児童・生徒の行動や表情だけを見て判断するのではなく、
「なぜそんな行動をしているのか？」という
“気持ち”や“背景”まで考えて寄り添うこと。

“知る”までではなく、
それを基に“関わり方を
工夫する”ところまで！

- 行動の“理由”を考える → 目の前の言動だけじゃなく、「どうしてそうしたのか」を考える。
- 見えない部分に気付く力 → 表情・様子・反応から、その子の“心の声”をくみ取ろうとする。
- 決めつけない → 「悪い子」じゃなくて、「今つまずいている子」と見ようとする姿勢。
- 一人一人違うことを前提に → 同じ行動でも、背景や思いは違う。だからこそ丁寧に見る必要がある。

児童生徒を見る視点を養う①

事例1：授業中に騒ぐ小学生



「落ち着きがない」の一言で済ませる？

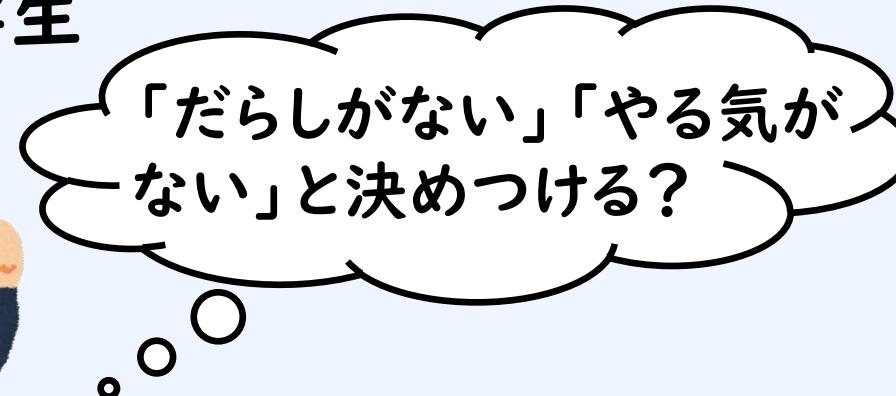
どんな見方ができるか？
どんな声かけができるか？



不安・刺激への過敏さ・発達特性などの理解が必要になってくるかも！？

児童生徒を見る視点を養う②

事例2：いつも遅刻してくる中学生



どんな見方ができるか?
どんな声かけができるか?



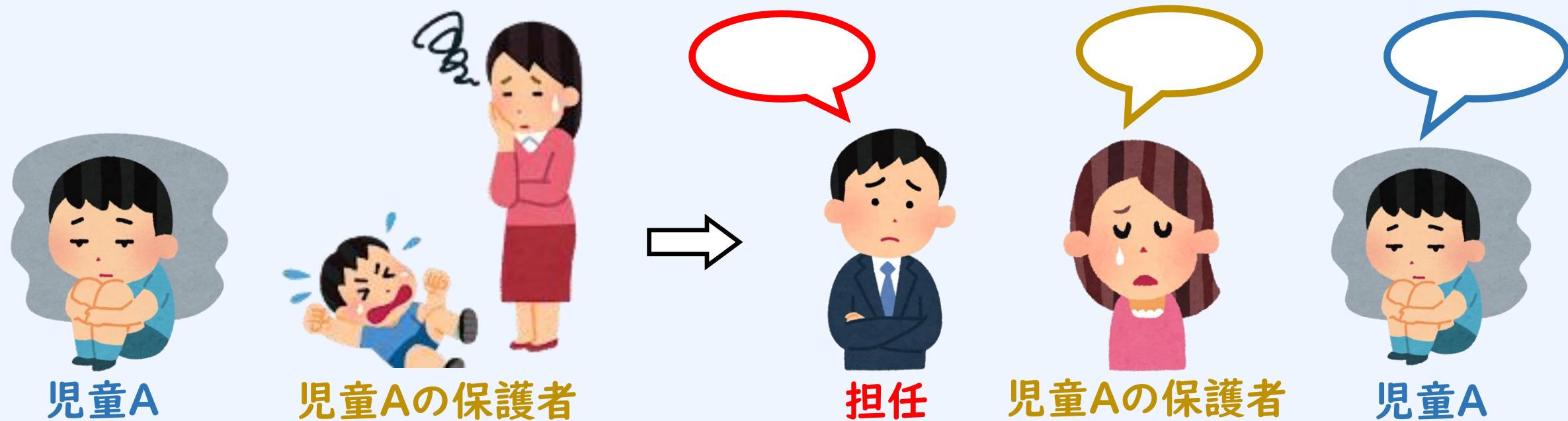
家庭の事情、生活リズム、自己肯定感など…
何かしらの背景があるかも!?

不登校気味の児童との面談(ロールプレイ①)

場面I

- ・児童Aが週に2~3日、体調不良などを理由に欠席するようになった。
- ・保護者からは「朝になるとお腹が痛いと言う」「無理に登校させようとすると泣いてしまう」と学校に連絡があった。
- ・児童Aはより頻繁に欠席するようになったので、家庭訪問をして、児童Aと保護者と話をした。

役割分担→担任、児童A、児童Aの保護者

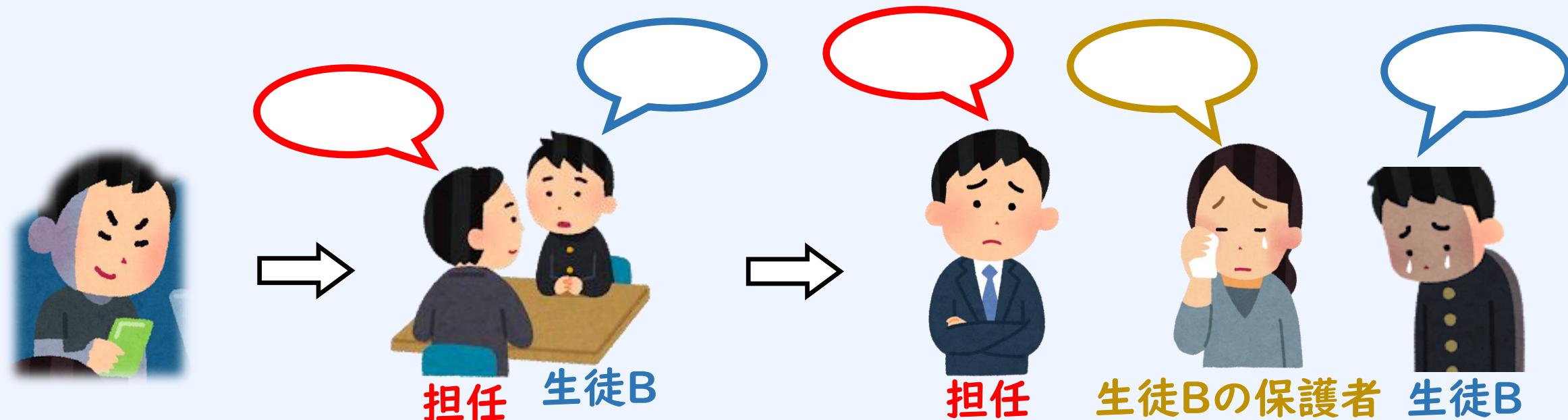


生徒同士のグループLINEでのトラブル(ロールプレイ②)

場面I

- ・生徒Aが、クラスのグループLINEで軽い冗談のつもりで生徒Bをからかうスタンプや文言を投稿した。
- ・傷ついた生徒Bはグループから抜け、担任へ相談した。
- ・心配した生徒Bの保護者は、生徒Bとともに担任へ相談に来た。

役割分担→**担任**、**生徒B**、**生徒Bの保護者**



生徒同士のグループLINEでのトラブル(ロールプレイ②)

場面2

- ・翌日、担任は生徒Aを呼び出して話をした。
- ・その日の夜、生徒Aの保護者が怒った感じで学校に came。
- ・担任は事情を説明し、3人での話し合いの場を設けた。

役割分担→**担任**、**生徒A**、**生徒Aの保護者**



振り返り

視点1：今日の学びを通して、「生徒指導」や「生徒理解」に対するイメージはどのように変わりましたか？

視点2：もし自分が教師だったら、児童・生徒に「この先生なら話してもいい」と思ってもらうために、どんなことを大切にしたいと思いましたか？

視点3：そのような教師になるために、今から自分ができること・学びたいことは何だと思いますか？

まずは個人で考え、その後、グループで共有しましょう！